



謹んで新年のお祝いを申し上げます



皆様、新年あけましておめでとうございます。2020年4月に唐澤前院長の後任として院長を引き継ぎあつという間の9ヶ月が過ぎました。これまで何とか務めさせていただきましたのも皆様のご支援のおかげとっております。この場をお借り致しまして厚く御礼申し上げます。

昨年一年を振り返ってみますとコロナ禍一色の2020年であったことは否めないかと思えます。当院では現在のところ（12月27日時点）新型コロナウイルス感染症の治療に直接携わってはおりませんが、4月16日より安中市医師会の先生方の協力の下に発熱外来を開設し、現在は当院独自に発熱外来を継続しております。また、新型コロナウイルス感染症に対する取り組みとして、現在も病院玄関での体温測定の実施、体調の確認、入院患者様への面会禁止措置を継続しております。長い期間皆様にご不便とご心配をおかけしてしまい大変申し訳ありませんが、ご協力の程よろしくお願ひします。電話による再診（体調の確認等）、処方箋の発行につきましては現在も続けておりますので、お問い合わせいただければ幸いです。新型コロナウイルス感染症対策として、最も基本的ですが、最も大切な事で、我々がまずできることは3密を避けること、マスクを着用すること、手指衛生（手洗い、アルコール消毒）を行うこと、になります。職員一同感染対策に全力を挙げて、皆様が安心して当院を受診していただける様これからも努力していく所存ですので、今後ともよろしくお願ひします。

話は変わりますが、昨年12月より当院眼科須田医師により11年ぶりに白内障手術を再開することができました。まだまだ再開したばかりで、十分に皆様のご要望に答えることができないかもしれませんが、少しずつ前に進めていければと思っております。皆様のご期待に応えられる様頑張っていきたいと思ひます。

まだしばらくの間コロナ禍が続くと思われまひます。皆様にご不便、ご心配をおかけしてしまひうかもしれませんが、これからも職員一同皆様に寄り添ひ、安心して受診していただける様、そして、皆様のご期待に添える様に努力していきたくと思ひしております。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

院長 三井 健揮



基本理念

私たちは、患者様の命と健康を守るため、安心して適切な医療が受けられ、より信頼される病院を目指し、努力してまいります。

1. 地域住民とともに歩み、患者様本位である病院（親しまれる病院）
2. 人々に信頼され、安心のよりどころとなる病院（信頼される病院）
3. 地域の医療機関と連携を図り、活力あふれ躍進する病院（期待される病院）

今年の冬の感染症対策について



今年の冬は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）とインフルエンザに備えて皆様には例年以上の感染症対策をお願いしております。

この2つの感染症は、どちらもウイルスに感染することで発症し、発熱、咳、だるさなどの症状を引き起こし、重症化すると肺炎となり最悪死に至ることがあります。さらに、ご高齢の方や糖尿病・高血圧などの基礎疾患をお持ちの方は症状が重症化しやすい点も共通しています。

新型コロナウイルス感染症の特徴としては、味覚障害や嗅覚障害を伴うことがあり、インフルエンザよりも風邪程度の軽い症状や無症状で済む方が多い反面、重症となった場合は集中治療室で人工呼吸器を使用することがあります。一方、インフルエンザは新型コロナウイルス感染症よりもウイルスの潜伏期間が短く、感染から早く症状があらわれます。突然高熱が出ることもインフルエンザの特徴です。



〈インフルエンザと新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の違い〉

| | インフルエンザ | 新型コロナウイルス感染症（COVID-19） |
|------------|------------------------------|--------------------------------|
| 症状の有無 | しばしば高熱が出る（ワクチン接種の有無などにより異なる） | 発熱に加えて、味覚障害・嗅覚障害を伴うことがある |
| 潜伏期間 | 1～2日 | 1～14日（平均5.6日） |
| 無症状感染 | 10%（無症状患者では、ウイルス量は少ない） | 数%～60%（無症状患者でもウイルス量は多く、感染力が強い） |
| ウイルス排出期間 | 5～10日（多くは5～6日） | 感染力があるウイルス排出期間は10日以内 |
| ウイルス排出のピーク | 発症後2・3日後 | 発症日 |
| 重症度 | 多くは軽症～中等症 | 重症になりうる |
| 致死率 | 0.1%以下 | 3～4% |

参考「今冬のインフルエンザとCOVID-19に備えて」（日本感染症学会提言）

新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するために皆様に日々ご協力いただいている「マスクの着用」「手指消毒」「うがい」「3密を避けた生活様式」はインフルエンザをはじめとした感染症予防にも効果的です。実際に皆様お一人お一人の心がけの結果、今年のインフルエンザ発症件数は例年を大幅に下回っています。今年の冬は、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の両方を予防するために、今後も感染症対策を続けていきましょう。

当院では、発熱などの症状のある患者様を診察させていただくために「発熱外来」を設けております。お電話にてご予約を受け付けておりますので、発熱、咳、だるさなどの症状があらわれた場合は、まずは当院代表電話（027-385-8221）へご連絡をお願いいたします。

公立碓氷病院 発熱外来（令和3年1月現在）

| | |
|--------|-------------------------|
| 設置時間 | 平日の月曜日から金曜日 13時から14時30分 |
| 予約受付時間 | 平日の月曜日から金曜日 9時から12時 |

昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性は 風しんの抗体検査と予防接種を受けましょう！

日本では、平成30年（2018年）から「風しん」の感染拡大が続いています。

風しんは、感染者の咳やくしゃみ、会話などで飛び散るしぶき（飛沫）を吸い込んで感染します。主な症状は発熱、発疹、リンパ節の腫れなどですが、大人でもまれに重症化することがあります。また、妊婦が感染すると子どもに障害（先天性風疹症候群）が残ることがあります。

風しんにかからないためには予防接種が有効ですが、昭和37年（1962年）4月2日から昭和54年（1979年）4月1日の間に生まれた男性は学校などで予防接種を受ける機会がなかったため他の世代に比べ風しんの抗体を持っていない方が多いといわれています。そのため、この世代の方には市町村から令和元年度よりクーポン券が発行されており、令和4年3月31日まで全国的に原則無料で風しんの抗体検査（採血）を受けることができます。また、検査の結果十分な抗体がなかった場合は無料で予防接種を受けることができます。

当院でも、風しんの抗体検査及び予防接種を行っており、抗体検査は特定健診や職場の健診と同時に受けることができます。

抗体検査の実施率は全国的に未だ低いといわれています。社会全体の感染拡大を防ぐため、まだクーポン券を利用していない方は次の健診の機会などを利用して風しんの抗体検査と予防接種を受けましょう。クーポン券を紛失された方は、市町村へお問い合わせの上再発行をして検査当日にご持参ください。

また、皆様の周りに対象の男性がいましたら、声掛けをお願いします。



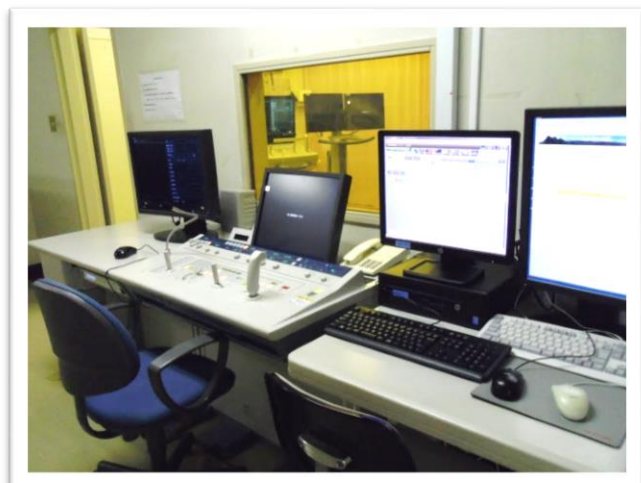
NEW

デジタルX線透視撮影台を最新式の機種に入れ替えました



放射線科では、令和2年9月に最新式デジタルX線テレビ透視撮影台「キャノンメディカルシステムズZEXIRA（ゼクシラ）FPD1717」を導入しました。今まで以上に高画質、低被ばく線量で検査が実施可能となり、寝台の高さは床上48cmまで下降しますので足の不自由な方の乗り降りも安全・快適に行うことができます。

主に胃バリウム検査で使用します。



視能訓練室

職場紹介



視能訓練士とは・・・



人は生活をする上で必要な情報の80%を目から得ていると言われています。

視能訓練士は国家資格を持ったスペシャリストとして、乳幼児からご高齢の方まで幅広い世代の皆様の大切な目の健康を守るお手伝いをしています。

当院の視能訓練室には1名の視能訓練士が所属し、眼科診療に関わる視能検査や視能訓練などの業務に当たっています。

視能訓練士のお仕事

眼科一般検査

遠視や近視、乱視といった屈折異常や、白内障などの目の病気に関する検査を行っています。



眼圧（目の硬さ）や屈折の測定をしています。



OCT（光干渉断層計）という器械を使って網膜の断面構造を調べています。

健診（検診）業務

目の病気の予防は「早期発見・早期治療」が大切です。令和元年度から安中市の3歳児健診で屈折眼位測定を行っており、弱視や斜視などの早期発見に努めています。その他学校検診・幼児の視力検査などにも対応しております（事前にお問い合わせが必要です）。



視能訓練

遠視や乱視などによって視力の発達が遅れた弱視のお子様や、片目の視線がずれることで両眼視が障害される斜視の方に対して視能向上のための訓練を行っています。



ロービジョンケア

小児の先天異常や成人の眼の慢性疾患、事故による眼外傷などによって視機能が低下した状態（ロービジョン）の方には、一人一人の見え方にあった補助具の選定や視機能の活用を支援しています。また、日常生活の工夫や地域の福祉、就労や生活などのリハビリテーションの情報提供を行っています。



告知

当院眼科では、令和2年12月より白内障手術を開始いたしました。詳細は、次号（うすい20号）にてお知らせします。乞うご期待！

湯治とは、温泉に入って疲労を回復させ、病気・怪我などの治療をすることで、医療が未発達な時代には、慢性疾患については唯一といってよいほど効果的な治療方法でした。

本市の磯部温泉は、草津や別府などの火山性の温泉と違い地下の地層中に閉じ込められた太古の化石海水が、断層に沿って湧出してくるもので、塩辛いのはそのためです。炭酸ガスを含んでおり、胃腸病などに効く霊泉として知られていました。

現在は「温泉マーク発祥の地」として売り出していますが、江戸期を通じてどの程度利用されていたのかは不明で、温泉地として脚光を浴びるのは鉄道が開通した明治18年以降のことで、比較的新しい温泉地といえます。

近世末には、伊香保、沢渡、川原湯、草津等の温泉へ湯治に出かけたとされますが、それほど一般的なことではなく、一生に一度の悲願として神仏詣を兼ねて湯治に出かける場合もあったようです。

新島襄の祖父、新島弁治が安政3年（1856年）7月5日から22日まで信州の善光寺参りを兼ねて草津に湯治に出かけた記録が同志社大学に残されています。

その記録「^{てびかえ}手控」によりますと、弁治は5日に安中を出発、秋間を越えて三ノ倉に入り、大戸で一泊して6日に須賀尾、長野原を経て草津に入り一井屋という宿屋に^{とまりゆう}逗留しました。

14日に同所を出立し、渋峠を牛に乗って七里を越え、渋につき「津幡屋」という宿屋に一泊しました。この宿も湯治の客で賑わっていました。

15日、同所を出立し、善光寺へ急ぎ、「婦しや平五郎」方へ宿を取り、ご開帳（特別に仏様を公開すること）を夕拝し、16日には再びご開帳を朝拝して渋へ帰り一泊その夜、渋の盆踊りがあり、男女入り交り踊るさま、子どもたちの花笠踊りなど妙なるさまを堪能しました。

17日に再び渋峠を牛に乗って越え、草津へ帰り一井屋の主人に念願を果たした大きな安堵の気持ちを語りました。

18日には、帰りの先触（武士が旅行の際に役所に出す行程表のこと）の準備などでせわしく過ごし、19日に先触を差出し、21日に草津を出立、22日大戸宿では残暑がきびしく、草津での厚着をぬぎ三ノ倉を越え安中へと帰着しました。

彼の残した手控によると湯治の出費は食材が多く自炊をしていたことが判ります。

またおみやげを大量に買い込んでいることから、今回の湯治行にあたり多くの親戚知人から餞別をもらっていたのでしょう。

弁治は俳句をたしなんでおり、手控の所々に記しています。



秋まぢて夏にわかるる峠かな
秋の日や牛は七里の峠越へ

■ 外来診療担当一覧

(令和3年1月4日現在)

| | | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|------------|-----|--------|--------------------|--|--------------------------|--------------------|--------------------------|
| 内科 | 午前 | 新患 | 塩野 由紀 | 秋葉 徹 | 武井 寿史 | 三井 健揮 | 松本 久美子 |
| | | 再来 | 松本 久美子 阿部 智志 | 三井 健揮 塩野 由紀 | 阿部 智志 野際 英司 | 秋葉 徹 唐澤 正光 | 河村 俊英 吉田 泉 |
| | 午後 | 一般 | 秋葉 徹 | 河村 俊英 | 武井 寿史 | 吉田 泉 | 長又 亮 |
| | | 特殊 | 諏訪 絢也 (腎臓・リウマチ) | 櫻井 篤志 ※1 (神経内科) 第1・3・5週 | 三井 健揮 (血液) | 河村 俊英 (血液) | 長又 亮 (腎臓・リウマチ) |
| | | | | | 松本 久美子 (血液) | 塩野 由紀 (血液) | 内山 和彦 (腎臓) 第2・4週 |
| | 透析 | 午前 | 吉田 泉 (諏訪 絢也) | 吉田 泉 | 吉田 泉 | 吉田 泉 | 長又 亮 |
| | | 午後 | 吉田 泉 (諏訪 絢也) | 吉田 泉 | 竹内(第1・3週) 吉田(第2・4・5週) | 吉田 泉 | 吉田(第1・3・5週) 内山(第2・4週) |
| | 小児科 | 午前 | | 小坂橋 実希子 | | | |
| | | 午後 | | 小坂橋 実希子 | | | |
| | 外科 | 午前 | 一般 | 中村 正治 | 中村(第1・3週) 吉田(第2・4・5週) | 吉田 美穂 | 中村 正治 |
| 乳腺・ 甲状腺 | | | 吉田 美穂 | 本田(第1・3週) 堀口(第2・4週) | | | |
| 午後 | | 一般 | 萩原 慶 | | 非常勤 ※2 (第1・3・5週) | | |
| | | 特殊 | | 中村 正治 (胃・大腸) | | 中村 正治 (胃・大腸) | |
| 整形外科 | 午前 | | 石綿 翔 | | 田鹿 毅 | | |
| | 午後 | | 石綿 翔 | 羽鳥 悠平 (第1・3週) 橋本 章吾 (第2・4・5週) | 田鹿 毅 ※3 | | |
| 眼科 | 午前 | 須田 考一 | 須田 考一 | 須田 考一 | 須田 考一 | 須田 考一 | |
| | 午後 | 須田 考一 | | <手術> ※4 | 須田 考一 | 須田 考一 | |
| 耳鼻咽喉科 | 午前 | | 高橋 克昌 | | 岡宮 智史 | | |
| 泌尿器科 | 午前 | 新田 貴士 | 新田 貴士 | 新田 貴士 | 新田 貴士 | 新田 貴士 | |
| | 午後 | 新田 貴士 | 新田 貴士 | 新田 貴士 | 新田 貴士 | | |
| 皮膚科 | 午後 | 齋藤 晋太郎 | | | | 上原 顕仁 | |
| 歯科口腔外科 | | 葦沢 健 | 西 貴志子 | 葦沢 健 | 葦沢 健 | 嶋田 淳・葦沢 健 西 貴志子 | |

- 毎月最初の受診の際は必ず保険証の提示をお願いします。
- 受付時間は 8:30~11:30、13:30~16:30 (一部例外あり)
- 休診日は土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12月29日~1月3日)
- 透析は土曜日、祝日も行っています。
- 内科、外科の特殊は専門医による外来です。事前に一般外来の受診が必要です。
- 内科、外科の午後(一般)は初診の方も受診できます。
- ※1 神経内科は完全予約制となります。受診希望の方は事前の連絡をお願いします。
- ※2 水曜日の外科の受付は 16:00 までです。
- ※3 木曜日の整形外科の予約以外の方の受付は 15:30 までです。
- ※4 水曜日の眼科の午後は手術日のため、診療は完全予約制となります。

外来診療担当一覧は今後変更になる可能性があります。最新の情報はホームページをご確認いただくか、お電話にてお問い合わせください。

編集
後記



明けましておめでとうございます。新型コロナウイルスの感染拡大の不安を抱えながらの生活が続いています。当院でも面会中止等の制限が継続され、皆様には大変ご迷惑をお掛けしています。また感染症の流行時期でもありますので体調管理には十分ご注意ください。本年も広報誌「うすい」を宜しくお願い致します。

広報委員長 岡田裕也(医事課 介護支援専門員)